

ケビン・メア米国務省日本部長の発言に対する抗議決議

ケビン・メア米国務省日本部長(前在沖米国総領事)は、昨年12月に首都ワシントンで行った米大学生らに対する講義で「沖縄の人は日本政府に対するごまかしとゆすりの名人だ」「沖縄の人は怠惰でゴーヤーも栽培できない」と発言し、また「日本政府は沖縄県知事に対し、もしお金がほしいならサインしろという必要がある」と述べている。普天間飛行場についても、「沖縄の人はいつも普天間飛行場は世界で最も危険な基地だと言うが、彼らはそれが本当でないことを知っている」「福岡空港や伊丹空港も同じように危険だ」などと述べたとも報じられている。

この発言は、戦後65年間、基地の重圧にさらされるなかで、基地のない平和で安心・安全な沖縄をつくることを切に願ってきた沖縄県民の心をまさに踏みにじるものであり、県民を愚弄し、侮辱した発言にほかならず、断じて許せるものではない。

また、ケビン・メア氏は米国務省においても、米軍普天間飛行場の移設問題など日米交渉に実務的に深く関与してきた人物であり、今なお、このような認識を持っていることは、極めて遺憾であり、決して看過できるものではない。

よって、本市議会は、今回のケビン・メア米国務省日本部長の発言が沖縄県民の願いと民意を全く無視愚弄するものであり、到底許し難いものであることから、ケビン・メア米国務省日本部長、米国務長官及び駐日米国大使に対し強く抗議するとともに、ケビン・メア氏に対し発言の撤回と沖縄県民への謝罪を求め、辞任を強く要求する。

以上、決議する。

平成23年3月10日

沖 縄 県 石 垣 市 議 会

あて先

米国大統領、米国務長官、駐日米国大使、米国務省日本部長、在沖米国総領事